

大規模災害時、通信途絶環境下でも使える

可搬型ローカル通信システムLACS

ATR

概要

LACS (Locally Accessible Cloud System)は、大規模災害時の電話もインターネットも使えない状況下で、近隣の人同士で連絡を取り合ったり情報を共有するための簡易な通信ツールです。LACSは大規模災害時だけでなく、イベント時などローカルな通信需要が急増する様々な場面での活用も期待されます。

システム

LACSは小型コンピュータ、バッテリー、無線LAN(Wi-Fi)装置を可搬型ケースに収容した通信システムです。



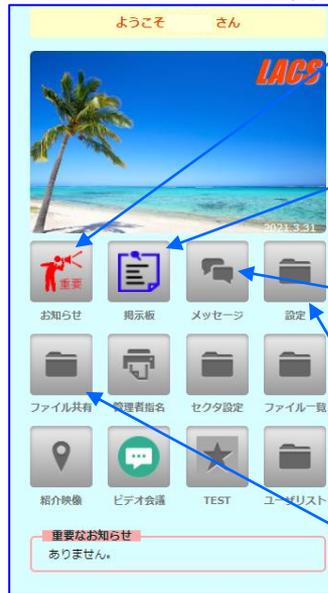
LACSは被災地での情報共有のためのツールとして活用できます。



利用者は自分のスマホからWi-Fi機能を使ってLACSにアクセス、利用します。

主要機能

LACS トップページ例



重要なお知らせ

自治体から住民に向けた周知など重要な情報配信に使用します。

掲示板

全利用者への情報共有手段として利用します。

メッセージング

利用者間の連絡手段を提供します。

利用者登録

情報アップロードやメッセージ機能利用に必要です。

ファイル共有

利用者間でファイル共有ができます。

※本システムは、内閣府総合科学技術・イノベーション会議の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「国家レジリエンス(防災・減災)の強化」で研究開発中のものです。

【本件お問合せ先】

株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 坂野 寿和

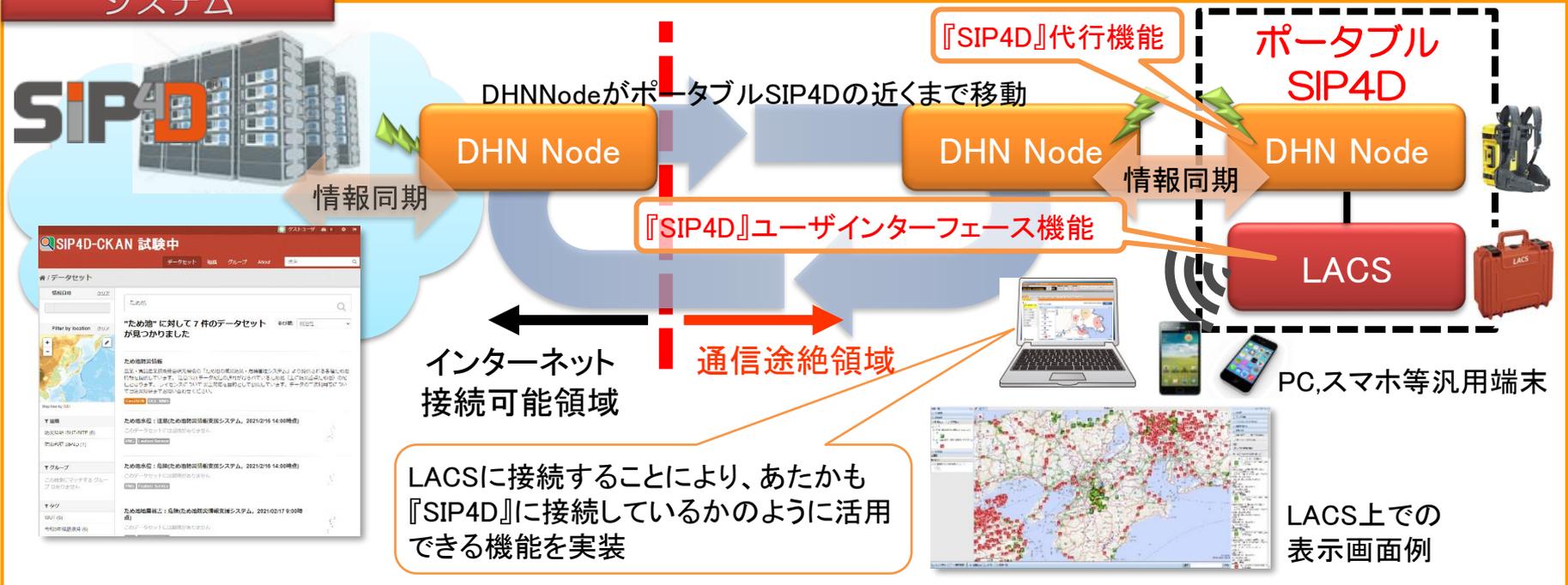
所在：けいはんな学研都市、Email: lacs@atr.jp Phone: 0774-95-2720 URL: https://www.atr.jp/index_e.html

大規模災害時、通信途絶環境下でもSIP4Dにつながる、ポータブルSIP4Dの研究開発

概要

- ▶ ポータブルSIP4Dは、通信途絶環境下でもSIP4Dに近い利用性を確保するため、Die Hard Network (DHN) ノードによるSIP4D代行機能とSIP4Dの一部機能を実装した可搬型ローカル通信システム (LACS) によるユーザインターフェースを組み合わせたシステムです。
- ▶ 利用者は、PC、タブレット、スマホなどのWi-Fi機能を使ってLACSにアクセスすることで、あたかもSIP4Dに接続しているかのように利用することができます。

システム



本システムは、内閣府総合科学技術・イノベーション会議の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「国家レジリエンス(防災・減災)の強化」のもとで、防災科学技術研究所(NIED)、情報通信研究機構(NICT)および株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR)が連携して研究開発を行っています。